

安里屋ユンタ

本調子

中 工 七 合 七 合 七 七 五 工 四 上

中 工 合 工 合 五 工 ○ 四 合 上 合

2 回目以降 (中)

中 上 合 工 合 乙 四 中 上 老 四 工

四 合 上 合 中 工 中 合 上 合 四 合

上 中 工 合 工 五 工 合 工 合 五 合

五 合 工 合 五 七 五 合 工 中 上 合

中 五 工 合 中 上 四 工 四 合 上 合

中 上 合 工 合 乙 四 中 上 老 四 工

一、サー君は野中のいばらの花か  
サーユイユイ  
暮れて帰ればやれほにひきとめる  
マタハーリヌツンダラカヌシヤマヨ

二、サー嬉し恥ずかし浮名を立てて  
サーユイユイ  
主は白百合やれほにままならぬ  
マタハーリヌツンダラカヌシヤマヨ

三、サー田草取るなら十六夜月よ  
サーユイユイ  
二人で気がねもやれほに水入らず  
マタハーリヌツンダラカヌシヤマヨ

四、サー染めて上げましよ紺地の小袖  
サーユイユイ  
掛けておくれよ情けのたすき  
マタハーリヌツンダラカヌシヤマヨ

五、サー沖縄よいとこ一度はめんそうれ  
サーユイユイ  
春夏秋冬緑の島よ  
マタハーリヌツンダラカヌシヤマヨ